

医療法人 正和会

介護老人保健施設ほのぼの苑

小玉敏央 施設長

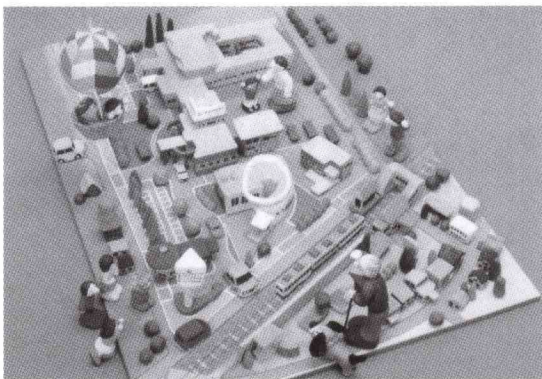
松永広枝 リハビリテーション科科长

1. 施設の概要

医療法人正和会は秋田県潟上市昭和に南秋田地区の地域医療を担う拠点として、小玉医院、南秋田整形外科、南秋田眼科およびおおくぼ歯科診療所の診療所の集合体として平成6年に設立されました。平成8年には介護老人保健施設ほのぼの苑、南秋田訪問看護ステーションを開設しております。ほのぼの苑は入所100名、通所リハビリ50名の定員で、地域の方々のニーズにあったサービスを提供し、自立支援を行っていくことを目標に取り組んでおります。また、関連施設にグループホームまめだすか、介護老人保健施設湖東老健、五十嵐記念病院、介護付有料老人ホーム木精を有し、地域における医療・介護サービスの充実に力を注いでおります。

2. 施設の特徴

当医療法人のリハビリテーションスタッフはPT7名、OT5名、ST1名、助手4名です。ほのぼの苑では、回復期の脳血管障害の方々や転倒による骨折治療後の方々を中心にリハビリテーションに力を入れ、在宅生活への復帰から通所リハビリ、訪問リハビリまで継続したリハビリテーションを行っています。平成17年度よりパワーリハビリテーション機器を導入し、PT中心に筋力強化プログラムを実施し、指導に取り組んでいます。OTは通所リハビリテーションの方々を中心とした革細工などの作品づくりを指導し、地域の方々



に機能を生かした活動の場として利用していただいています。また、嚥下障害の方に対してはNST (Nutrition support team) を立ち上げました。STが中心となって医師・看護師・栄養士と連携したサポート体制でVF検査、摂食指導、栄養管理に取り組んでいます。ほのぼの苑は在宅復帰を目指すリハビリの場であるとともに、生活の喜びを再認識していただく場でもあります。職員は個別リハビリ、パワーリハビリテーションおよび作業活動や、施設の行事への参加を通じて、利用者同士の交流をサポートし、人とふれあい活動する喜びをできるだけ多く体験していただき、生活する意欲を高めていただけるよう努力を続けています。

3. これからの課題

介護保険の改正により各介護保険下の施設は、利用者負担金の上昇がどのように影響を与えるか不安を抱えています。そして負担金の上昇により本人、家族はさらによりサービスを施設に求めることになります。特に、老人保健施設の利用者はリハビリ意欲が高い方が多く、今まで以上に在宅復帰を視野に入れた専門的展開が必要になります。

当苑の方針は、可能な限り状態が回復するのを待って在宅復帰していただくことであり、一部に見られるような入所期間を区切って入所していただくようなことは厳に戒めなければならないと考えています。このような方針を貫くためにも、リハビリスタッフの充実と、看護、介護職員の意識をどのように高めていくかが今後の課題です。

[所在地：〒018-1401 秋田県潟上市昭和久保字街道下92-1]
☎018-877-7115 FAX018-877-7481